

2年保健体育（MYP 3 Physical & health education）【保健体育：3単位】

科目のねらい

MYP保健体育の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・探究学習を通して、保健体育の概念を研究する。
- ・様々な場面に効果的に参加する。
- ・身体活動（運動）の価値を理解する。
- ・健康的な生活（ライフスタイル）を維持する。
- ・効果的に他人と協力したり、コミュニケーションをとったりする。
- ・他人と建設的・肯定的な関係を構築し、社会的責任を示す。
- ・自身の学習経験を振り返る。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：知識と理解	i. 「保健体育」に関する、事實的、手続的、概念的知識を詳しく述べるができる。
	ii. なじみのある、あるいはなじみのない状況において設定された問題を説明し、解決するために、「保健体育」に関する知識を応用することができる。
	iii. 理解を伝えるために、「保健体育」の専門用語を効果的に応用することができる。
B：パフォーマンスの計画	i. パフォーマンスの改善に向けた目標を簡単に述べるができる。
	ii. 身体能力と健康を改善するための計画を設計し、説明することができる。
C：応用と実践	i. 幅広いスキルや技術を示し、応用することができる。
	ii. 幅広い戦略や動きの概念を示し、応用することができる。
	iii. 効果的なパフォーマンスに必要な情報を簡単に述べ、応用することができる。
D：パフォーマンスの振り返りと改善	i. 対人スキルを強化するための戦略を詳しく述べ、示すことができる。
	ii. 計画の有効性を、その成果に基づき説明することができる。
	iii. パフォーマンスを説明し、評価することができる。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「保健体育指導の手引き」に基づいています。

関連概念（保健体育の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適応	選択	バランス	エネルギー
環境	機能	相互作用	運動
ものの見方	改良	空間	システム

※目標と評価規準はMYP保健体育3のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. Development (発展) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーション、批判的思考スキル、振り返りスキル	A. 体づくりの運動 (ア. 体ほぐしの運動・イ. 体力を高める運動) ラジオ体操ではグループで体操の目的を理解し実践する。新体力テストは方法を理解し計測する。	「ブックレット」ラジオ体操を行うことでほぐれる体の部位を探究し、運動が及ぼす体への効果を検証する。【A】 「ブックレット」自己のパフォーマンスを評価し、本番までの準備について振り返る。【D】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-D 2. C-15

	2	1. Communication(伝達) 2. Scientific and technical innovation (科学的・技術的革新) 3. コミュニケーション・批判的思考・協働・振り返り	C. 陸上競技 (ア. 持久走・リレー)	「実技テスト」自己の目標を設定し、記録測定とVTR撮影を行う。【C】 「ブックレット」持久走やリレーのパフォーマンスを振り返り、自分の計画を振り返る。 【D】	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-D 2. A-4
	3	1. Change(変化) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関係) 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・創造的思考スキル	E. 球技 (ア. アルティメット)	「ブックレット」チームメンバーと連携をとりながら、よりよいパフォーマンスを作り上げるための計画を行う。【B】 「ブックレット」チームとしてのパフォーマンスを評価し、それに基づき計画や行動の仕方を再設計する。【D】	1. ①学びに向かう力-B ②思考・判断・表現-D 2. A-5
	4	1. Relationships(関係) 2. 個人的・文化的表現 Personal and culture expression 3. コミュニケーション、情動、批判的思考	G. ダンス (ウ. チアダンス)	「ブックレット」効果的な目標を設定し、意味ある活動になる計画を立てる。 【B】 「実技テスト」テーマにふさわしい作品をつくり、まとめ、表現する。【C】	1. ①知識・技能-C ②学びに向かう力-B 2. A-6
後期 (10月～3月)	5	1. Relationships(関係) 2. 個人的表現と文化的表現 (personal and culture expression) 3. 情報リテラシー、批判的思考、協働	F. 武道 (ア. 柔道)	「スライド」自己や相手の身を守る方法を知り、立ち技のスライドを作成する。 【C】 「ブックレット」自己のスライドとパフォーマンスを評価する。【D】	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-D 2. B-7
	6	1. Relationships(関係) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル・協働スキル・振り返りスキル	E. 球技 (ア. バスケットボール)	「ブックレット」自チームで選択した作戦が実行できるための練習計画を立てる。【B】 「ブックレット」振り返りの中で、自分たちのパフォーマンスを評価し、それに基づいて練習計画を再設計する。【D】	1. ①学びに向かう力-B ②思考・判断・表現-D 2. C-12
	U n i t 外	1. Relationships(関係) 2. Orientation in space and time (空間と時間) 3. コミュニケーションスキル	E. 球技 (イ. 卓球、バドミントン)	なし	1. なし 2. B-8
通年	7	1. Relationships (関係性) 2. Identities and relationships (アイデンティティと関係性) 3. コミュニケーション・情動・メディアリテラシー	H. 保健・体育理論	「筆記テスト」保健で得た知識をいろいろな形式で表現し、学んだ知識を筆記テストでアウトプットする。【A】	1. ①知識・技能-A 2. C-12